

# 学生相談室便り

2021年11月 第45号



## 幸福の王子の幸福

学生相談室 カウンセラー 水谷 誉子

小さい頃、ABCブックという幼児向けの童話の絵本が毎月1冊ずつ届くのを楽しみにしていました。そのうちの1つに「幸福の王子」があります。ある町の中心に、宝石と金箔で飾られた立派な王子の像がありました。王子は、貧困で苦しむ町の人たちを憂い、友だちのツバメに頼んで、自分の体の宝石や金箔を分け与えます。やがて冬が来てツバメは死に、王子の心臓も割れてしましますが、それでも王子は、動けない自分に代わってツバメが手伝ってくれて貧しい人々が救われたことがうれしく、幸せだったというお話です。最初に剣の飾りのルビーを、そして、両目のサファイアを抜き取って運んでもらうと、王子の目は見えなくなりました。子どもの私は、目が見えなくなるってどういうことだろう？と目をつぶってみました。我慢できずにすぐに開けてしまいました。一瞬ですが、見えないことの恐怖や不自由を感じた気がしました。王子の宝石がなくなると、今度は体中の金箔をはがしてツバメに運んでもらうのですが、体の金箔をはがすってどんな感じがするのだろう？と、当時大好きだったお菓子の薄い銀紙を伸ばして腕に貼り、はがしてみました。そんなことをしても私の腕は痛くもかゆくもなかったけれど、王子は痛かったのではないかな？寒かったのではないかな？と一生懸命想像しました。こうして振り返ると、行ったことも見たこともない外国のお話を、子どもなりに想像力を働かせて味わったのは豊かな時間だったと思います。

今は、調べれば世界中の情報が手に入ります。それどころか、わざわざ調べなくても、SNSの普及によって、他人のプライバシーに関わるような不要な情報が次々と入ってくるようになりました。自粛期間に1人で家にいても、友人や知人、会ったことはないけれどフォローしている人の楽しんでいる姿や、充実している様子が目に飛び込んできます。つい自分と比べて心がかき乱され、気が休まらないこともあったのではないのでしょうか？今、この瞬間も、誰がどこで何をしていた、誰と誰がつながっているのかが事細かに分かっています。そこには想像力を働かせる余地もありません。しかし、SNSで発信されている情報は、その人のすべてを表しているわけではありません。今やアプリで容姿を加工するのは当たり前ですし、笑顔で写真や動画を撮った次の瞬間には、ため息をついているかもしれないのです。最初はきらびやかな姿だった王子は幸せの象徴のように見えてましたが、心の中は悲しみにあふれていました。持てるものすべてを人々に分け与えた末にみすぼらしい身なりになったとき、王子の心は満たされ、幸せでした。真実は、外側からは分からないものです。

新型コロナの感染者が減って対面授業が再開し、キャンパスにも賑わいが戻ってきました。急な変化に、心も体も追いつかないと感じている人も少なくないでしょう。そんな時には、少し情報を遮断して一息つく時間を設けてみてください。自分にとっての幸せはどんなことか、価値のある大切なことは何かということに立ち戻ってみると、不思議と心が落ち着いてきます。一人では難しいという人は、学生相談室にお申し込みください。

専用予約フォームのアドレス(URL) → <https://secure.sugiyama-u.ac.jp/forms/soudanyoyaku/>

学生相談室便りは、学生相談室のホームページからも見ることができます。

アドレス(URL) <http://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/campus/health/counseling/>

